

## M11b JavaScript を利用した太陽画像公開システム

飯塚康至、桜井隆、西野洋平、小野寺弥一郎 (国立天文台)、萩野正興 (明星大情報)

太陽は我々に一番近い恒星であり、ダイナミックな姿を日々我々に見せてくれる。日本を始めとするたくさんの観測所が、さまざまな方法を用い太陽の活動を観測している。観測されたデータは研究用に用いられるほかに閲覧形式の画像として広く一般に Web 上で公開されている。

しかし、これらの公開方法は観測所によりさまざまに統一されているとは言いがたい。そこで以下の観点に則り公開のためのシステムを開発した。

(1) 研究者や観測所のデータ公開の手間を減らす。(2) CD-ROM などの媒体で配布できる。(3) Web で公開することにより、データをネットワーク越しに検索できる。(4) ユーザーがナビゲーションしやすく目的の画像を探しやすい。(5) 時系列で太陽の活動の変化をつかむことができる

以上から、アーキテクチャとして JavaScript を採用した。JavaScript はブラウザ実行型のスクリプト環境であるので、機種を問わず実行が可能である。また HTML 内にソースコードを記述するので、CGI 等とは異なり CD-ROM などで配布が可能である。表示形式はサムネイルのカレンダー表記を始めに行うことにした。これにより利用者は年月日を元に目的のデータを探することができる。サムネイルをクリックすると詳細画像を表示し、スライドショーなどのナビゲーションができ、該当データの前後の太陽の活動を知ることにも可能となる。

今回紹介するこのスクリプトは拡張子の定義やファイルパスの部分を変更することにより、表示データを変更することができ、簡単に他のサイトに適用が可能である。

データの入力については S-RAMP データベース科研費 (代表者・名大 STE 研究 萩野竜樹) の援助を得た。